

# 市議会だより

東松島市  
第73号

令和6年8月1日発行



第2回ひがしまつしま写真コンテスト最優秀賞作品 大曲地区 撮影者：三浦 勇男

- 東松島市一般会計補正予算ほか28件は  
全会一致で原案のとおり可決 P 2～ 4
- 一般質問～13人が市政をただす～  
P 5～12
- 政務活動費使用状況 P 12
- 市議会議員表彰及び議会活動報告  
P13～15



脱炭素先行地域

東松島市は、環境省「第1回脱炭素先行地域」に選定されました。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

東松島市は、政府から「SDGs未来都市」に選定されています。



議会映像は  
ここから  
チェック!



発行／宮城県東松島市議会

編集／広報常任委員会

# 令和6年 第2回定例会

令和6年第2回定例会は、6月13日から6月24日までの12日間の会期で行いました。

補正予算、条例の改正、人事案等の審議が行われ、全て全会一致で原案のとおり可決しました。

●議案等の上程件数 28件

<内訳>

条例	5件
人事	16件
補正予算	1件
契約の締結	4件
その他	2件

議会に上程された全ての議案の議決結果については、市議会HPに掲載しております。



## 人事に関する議案

### 農業委員 熊谷 奨氏他15人を推薦

熊谷 奨氏（矢本）他15人を農業委員として、全会一致で任命について同意しました。

この任命は、現委員の任期が令和6年7月7日までとなっているため、農業委員会等に関する法律の規定に基づき提案され、議会が同意したものです。

また、秋本まゆみ氏については、農業委員会等に関する法律第8条第6項の規定する、農業委員会の所掌に属する事項に関して利害関係を有しない者として、任命について同意しました。

## 災害時に速やかに避難が行える

# 「津波避難タワー建築工事請負契約の締結について」可決

### 議案第59号

（議案の主な内容） 矢本運動公園内に津波避難タワーを整備するための工事となります。

本工事は、宮城県が令和4年5月に公表した新たな津波浸水想定を受けて、津波避難の指定避難所までの距離が1キロメートルを超え、徒歩による避難が困難な矢本関の内地区、大曲沿岸地区の災害時避難行動要支援者と避難支援者が速やかに避難できるよう整備を行うものです。

津波避難タワーの概要については、鉄骨造地上4階建て、延べ床面積490.64平方メートル、収容人数200人のタワーとし、想定津波浸水深が1メートルから3メートルとなっていることから、3・4階に一時避難場所となる居室を設け、3階にはトイレ、4階には備蓄倉庫を整備するとともに、屋上には太陽光発電設備を設置するものです。



▲津波避難タワー完成イメージ図

（敬称略）

議案番号	ふり氏	がな名	住所	推薦・応募の別	議案番号	ふり氏	がな名	住所	推薦・応募の別
35	くまがい	すすむ 奨	矢本	農業団体推薦	43	おおさき	こう 康	大塩	農業者推薦
36	かわむら	かつお 勝雄	矢本	農業者推薦	44	みつら	まきえ 牧恵	牛網	応募
37	すがい	はんじ 賢治	小松	農業者推薦	45	あべ	たみ夫 民夫	牛網	応募
38	さとう	しやう 祥	大曲	農業団体推薦	46	あずみ	たかし 高司	上下堤	農業団体推薦
39	こいわ	としゆき 敏幸	大曲	応募	47	あべ	としろう 俊郎	野蒜ヶ丘	応募
40	さいらう	ひろき 宏樹	赤井	農業者推薦	48	おおやま	みちお 道保	大塚	農業者推薦
41	さとう	えいひろ 栄宏	赤井	農業者推薦	49	もんま	ひろゆき 宏之	宮戸	農業法人推薦
42	こんの	よしひこ 嘉彦	赤井	農業者推薦	50	あきもと	まゆみ 秋本まゆみ	大塩	農業者推薦

補正  
予算

6月定例会において、一般会計補正予算を慎重審議し、可決しました。その際の質疑及び答弁を何点かご紹介いたします。

矢本駅前商業施設棟解体に係る移設等工事負担金(5千687万円)など3億400万円の一般会計補正予算を可決

定住化促進事業

地域おこし協力隊活動費補助金

395万8千円

Q 地域おこし協力隊活動費補助金の内容は。

A 地域おこし協力隊が2名増員するため、活動費補助金を増額する。

交通安全対策推進事業

カーブミラー設置工事費

39万8千円

Q カーブミラーの設置箇所は。

A 大塩地区グリーンタウンやもと工業団地内に新たな企業が進出することにより交通量の増加が見られることから、交通安全対策として工業団地の南側の交差点に2基新設する。

防犯対策推進事業

防犯カメラ設置工事費

37万7千円

Q 防犯カメラの設置箇所は。

A 矢本駅、東矢本駅に既に設置しているものの更新を行う。あわせて、陸前小野駅、野蒜駅、東名駅のそれぞれの駐輪場に新規で設置する。

東日本大震災復興祈念公園運営事業

機械器具購入費

50万円

Q 東日本大震災復興祈念公園の機械器具購入費の内容は。

A 東松島市震災復興伝承館において、デジタルアーカイブ<sup>※1</sup>を放送するためのデジタルサイネージ(電子看板)を2台購入し、1階と2階に1台ずつ設置する。

道の駅整備事業

管理用備品購入費

3千568万6千円

消耗品費

250万3千円

Q 現在、農村婦人の家にある地域生産物の加工施設があり、新しく開業される道の駅内に拠点を移すが、使用している備品等は移設するのか。

A 農村婦人の家で使用している備品等は、20〜30年使用しており、経年劣化で消耗しているため、それに合わせて、新たに活動に必要な消耗品や備品等について購入を行う。

中学校施設整備事業

矢本第一中学校多目的スペース空調設備設置工事費

3千430万7千円

Q 具体的にどのような空調設備を設置するのか。

A 多目的スペースについては、災害時避難者が待機する場所も兼ねており、パッケージエアコン9台、内訳として1階に3台、2階に2台、3階に4台設置するもの。その際、既存のキュービクルは電力が1台では不足するため、1基新設し、それに伴う高圧ケーブルの新設もあわせて行う。

令和6年第2回臨時会

一般会計 300万円を追加

令和6年5月13日、第2回臨時会が行われ、一般会計補正予算や専決処分した事件の承認について全会一致で可決しました。

議案第33号

東松島市地域福祉交流プラザ条例について

(委員長報告の主な内容)

今回の条例制定は、旧矢本中央幼稚園の建物を改修し、6月1日からの供用開始に向け準備を進めている地域福祉交流プラザの施設名称、位置及び業務等を定めるものです。

審査において、分散していた各種福祉相談窓口や支援活動施設を機能集約するため、コミュニティーパーク内の施設から、ボランティア、市民活動センター、被災者サポートセンターを、老人福祉センターから、くらし安心サポートセンター、東部地域包括支援センターの機能を地域福祉交流プラザに集約することを確認しました。

また、地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応していくため、包括的な支援体制を構築していくための相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に取り組みることにより、重層的支援の場として社会福祉協議会と連携、協働しながら運営を行っていくことを確認し、原案可決すべきものと決定しました。



▲委員長報告を行う  
小野民生教育常任委員長

可決した議案



第2回臨時会 (5 / 13) 可決議案

- 承認第1号 専決処分した事件 (東松島市市税条例の一部を改正する条例) の承認について
- 承認第2号 専決処分した事件 (東松島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) の承認について
- 承認第3号 専決処分した事件 (東松島市特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例及び東松島市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例) の承認について
- 議案第33号 東松島市地域福祉交流プラザ条例について
- 議案第34号 令和6年度東松島市一般会計補正予算 (第1号) について

第2回定例会 (6月定例会) 可決議案

- 議案第35号 農業委員会委員の任命について
- 議案第36号 農業委員会委員の任命について
- 議案第37号 農業委員会委員の任命について
- 議案第38号 農業委員会委員の任命について
- 議案第39号 農業委員会委員の任命について
- 議案第40号 農業委員会委員の任命について
- 議案第41号 農業委員会委員の任命について
- 議案第42号 農業委員会委員の任命について
- 議案第43号 農業委員会委員の任命について
- 議案第44号 農業委員会委員の任命について
- 議案第45号 農業委員会委員の任命について
- 議案第46号 農業委員会委員の任命について
- 議案第47号 農業委員会委員の任命について
- 議案第48号 農業委員会委員の任命について
- 議案第49号 農業委員会委員の任命について
- 議案第50号 農業委員会委員の任命について
- 議案第51号 東松島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第52号 東松島市附属機関設置条例の一部を改正する条例について
- 議案第53号 東松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第54号 東松島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 議案第55号 東松島市21世紀の田園文化創造基金条例を廃止する条例について
- 議案第56号 令和6年度下浦住宅4号棟大規模改修工事請負契約の締結について
- 議案第57号 (債) 令和6年度図書館増築・改修工事請負契約の締結について
- 議案第58号 (債) 令和6年度松島飛行場施設周辺整備統合事業鷹来の森運動公園大規模改修工事請負契約の締結について
- 議案第59号 令和6年度津波避難タワー建築工事請負契約の締結について
- 議案第60号 石巻地方広域水道企業団規約の変更について
- 議案第61号 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 議案第62号 令和6年度東松島市一般会計補正予算 (第2号) について

# 一般質問

# 13議員が市政をたずねます

## 東松島市第2次総合計画後期基本計画まちづくりの方向性別目次

<b>1 産業と活力のある住みたくなるまち</b>	
「道の駅」開業に向けた環境整備を徹底せよ	浅野 直美 P 7
道の駅の農産物加工施設の運営について	大橋 博之 P 8
空き家対策の早急な促進を	土井 光正 P 8
松島～宮戸間の遊覧船就航で更なる観光拡大の推進を	土井 光正 P 8
市政運営の課題を問う	小野 幸男 P 9
漁業の被害状況について問う	井出 方明 P10
観光推進施策について問う	井出 方明 P10
農薬の適正使用について	阿部 秀太 P11
<b>2 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち</b>	
消滅可能性自治体について	石森 晃寿 P 6
障がい者雇用の徹底と福祉関連の充実を	浅野 直美 P 7
屋内大型遊具がある施設の整備について	大橋 博之 P 8
子育て支援の更なる拡充で人口減少に歯止めを	土井 光正 P 8
子ども食堂（地域食堂）の推進及びサポートについて問う	手代木せつ子 P 9
2025年問題について問う	櫻井 政文 P10
本市に居住する外国人の状況把握はいかに	五野井敏夫 P12
<b>3 次世代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち</b>	
野蒜海岸を活用したスポーツ環境の整備を推進せよ	齋藤 徹 P 6
部活動外部指導者へ地域おこし協力隊の積極的登用を	齋藤 徹 P 6
スポーツ健康都市として市民の応援を	浅野 直美 P 7
<b>4 災害に強く安全で快適で美しいまち</b>	
小野駅前東集会所の駐車場整備について	石森 晃寿 P 6
公共施設について伺う	千葉 修一 P 7
市民の足・らくらく号の利用について	長谷川 博 P11
南浦地区の雨水排水対策について	長谷川 博 P11
老朽化した市営住宅地の利活用を問う	五野井敏夫 P12
<b>5 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち</b>	
市民満足度調査結果について問う	手代木せつ子 P 9
A I（人口知能）の導入及び利活用について	櫻井 政文 P10
松島基地との共存共栄について問う	井出 方明 P10
次期総合計画に若者の参画を	阿部 秀太 P11

※質問した議員は責任をもって原稿を作成しています。

# 問 消滅可能性自治体について

答 雇用創出で消滅可能性自治体に入らない



石森 晃寿 議員

1件目

問 4月25日の新聞報道によると有識者でつくる人口戦略会議は、2020年から2050年までに全国の約4割にあたる744自治体で若年女性（20～39歳）が50%以上減り、消滅する可能性があると分析結果を公表した。資料によると本市の若年女性の人口減少率は、47・2%となる推計をしている。このことをどのように受け止めているか。

答 本市は、47・2%の減少率に留まり、消滅可能性自治体に分類されていないことは、これまで、他の自治体に先駆けて、企業誘致による働く場の創出や、子育て環境の充

- 1 消滅可能性自治体について
- 2 小野駅前東集会所の駐車場整備について



▲若年女性の働き先である誘致企業の一例

実に向けた取組等により、一定の抑制がなされ、人口維持に健闘していると考えている。しかし、直近の国勢調査を比較すると、人口減や、出生数も伸び悩んでいることから、大変危機感を感じている。

問 若年女性の雇用の確保は。

答 今後も、若年女性が働ける雇用の確保に努める。

問 若年女性が結婚して、

住宅を持てるような安価な宅地造成は。

答 市営別当住宅解体跡地等を活用した宅地整備を早期に実施する。

問 小児科専門医が常勤する医療施設の確保は。

答 既に、週2日実施している医療機関と話し合っている。

問 本市で出産できる医療の確保は。

答 圏域の課題として働きかける。

# 問 野蒜海岸のスポーツ環境の整備は

答 環境整備について、前向きに検討



齋藤 徹 議員

1件目

問 一般社団法人日本ビーチサッカー連盟から野蒜海岸と周辺環境が高く評価された。本市として、同海岸におけるビーチスポーツ環境整備や交

- 1 野蒜海岸を活用したスポーツ環境の整備を推進せよ
- 2 部活動外部指導者へ地域おこし協力隊の積極的登用を



▲ビーチスポーツの拠点として野蒜海岸の利活用を!!

流人口の拡大等を推進すべきと考えるが、本市の見解は。

答 野蒜海岸は、県内有数の砂浜を持つ風光明媚な海岸として、本市の大きな財産であると捉えている。現在、ビーチバレー及びビーチテニス兼用の公式規格によるビーチコート8面を整備し、各種団体に利用されているが、昨年、元男子サッカー日本代表の北澤豪氏

から、専用のビーチサッカーコートの整備について要望を受けていることもあり、ビーチサッカーコートを含めた環境整備について前向きに検討していく。

問 ビーチスポーツやビーチトレーニングは体幹トレーニングに対して親和性が高い。身体に障がいを持った方やオフシーズン時のスポーツ団体へ同海岸でのトレーニング等を奨励してはどうか。

答 砂浜での運動が体幹の強化や、バランス感覚を高める効果が期待できることは認識している。ビーチスポーツが基礎体力の向上だけではなく、健康増進など様々な効果が期待できるため、野蒜海岸の利活用を、障がいを持った方やスポーツ関係団体等、多くの方へ向け奨励していく。

# 問 公共施設について伺う

## 答 施設の改修計画に合わせ整備を行う



千葉 修一 議員

1件目

**問**公共施設全体に障がい者へ配慮した環境の整備が必要と考えるが、いかに。

**答**高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき整備しており、平成18年より前に整備した施設では、高齢者・障がい者等へ配慮した環境整備が未整備となっており、施設の改修計画に合わせ整備を行っていく。

**問**市民センター等へのWiFiの設置について伺う。

**答**地域住民の利用を中心に、各種団体・企業等への貸館での活用もあり、

### 1 公共施設について伺う



▲道路補修と通路への防犯灯の設置が必要と考える場所

様々な活動の中でデジタル化も進んでいることから、WiFi設置については、各施設の利用状況を分析し、稼働率の高い部屋への導入や、設置工事が不要な仕組み等も含めて状況に見合った整備を研究し、市民サービス向上に繋がるようWiFiの設置に向けて前向きに検討していく。

**問**赤井小学校の道路補

修と校舎北側にある通路への防犯灯の設置が必要と考えるが、いかに。

**答**児童の安全を最優先に確保する方針のもと、児童が安全に移動できるように、道路補修及び校舎北側への防犯灯設置については、現地を確認したところ必要性を認識したので、今後補正予算で対応したいと考えている。



# 問 道の駅東松島に繋ぐ歩道橋設置を

## 答 国に粘り強く要望し実現に努める



浅野 直美 議員

1件目

**問**11月開業予定の道の駅について、矢本IC周辺を含め安全対策と環境整備を万全に務めるべき。

**答**交差点の防護柵設置、案内標識設置、カメモシ対策を含めた三陸道法面

に繁茂した草の除草作業等、国・県の各関係機関と協議を進め、安全対策と環境整備を徹底する。また、下り線から上り線の道の駅までの連絡通路となる歩道橋等設置は非常に重要であると認識しており、県選出国會議員と情報交換を行っているが、多大な予算が必要であることから、国土交通省に必要性を粘り強く要望し早期実現に努力する。

2件目

**問**宮城労働局より障がい者雇用適正実施の勧告を受けている。積極的な雇用促進を提案する。また、包括的な福祉関連支援の充実を求める。

**答**中途退職者の発生等で未達成となり勧告を受けたが、その後雇用募集を行い、現在は基準を達成している。「障がい者の雇用促進策」を強化し、障がい者の雇用機会の創出と自立促進に努める。また、包括的な支援充実を図り地域福祉に注力する。

3件目

**問**スポーツに励む市民の活躍を応援するため、現行の報奨制度の見直しを提案する。

**答**各種上位大会を激励するため、報奨金及び庁用バスを提供し送迎支援を行っている。他自治体の動向を踏まえ判断する。



- 1 「道の駅」開業に向けた環境整備を徹底せよ
- 2 障がい者雇用の徹底と福祉関連の充実を
- 3 スポーツ健康都市として市民の応援を



▲道の駅東松島に歩道橋設置を



▲スポーツに励む市民・児童生徒を応援

# 問 道の駅内の農産物加工施設について

## 答 加工施設は東松島市の管理とする



大橋 博之 議員

道の駅「東松島」の建設も順調に進捗のようであるが、施設内に整備される農産物加工施設の運営手法について、具体的に示されていない。市長の所見を伺う。

**問** 施設の運営については、どのような組織が担っていくのか。

**答** 加工室は2部屋設ける予定としており、いずれも市が管理することとしている。地域生産物の加工技術の伝承や、食のPRに繋げ、東松島市の農水産業の振興に寄与していく。加工室のうち一つは、東松島市地域生産物加工研究会の新たな活動拠点となる。もう一つの加工室は、市内の農産

- 1 道の駅の農産物加工施設の運営について
- 2 屋内大型遊具がある施設の整備について



▲建設中の道の駅「東松島」

物及び水産物を加工して販売する意欲のある団体・個人に対し貸し出す予定である。

**問** 6次産業化・農商工連携に向けた取組の可能性は。

**答** 生産者と加工業者など異業種とのマッチングや、大学などの学術機関、地域おこし協力隊など多様な分野との連携の可能性について、市内の関係者との意見交換や先進事例の情報収集に努める。

**問** 観光資源としての活用手法について。

**答** 加工施設を多くの団体・個人に利用していただき、そこで開発された加工品が新たな東松島市の特産品として生まれることで、東松島市の食や一次産業を広くPRし、観光客の増加や、地域経済の活性化に繋げるためにも、株式会社東松島観光物産公社と連携し、観光資源として活用する。



# 問 空き家対策として利活用の促進を

## 答 融資制度の構築に向け取り組む



土井 光正 議員

**問** 今後、増え続ける空き家の利活用を含めた対策は。

**答** 本市の空き家バンクであり、登録物件を増や

す方策を検討する。

**問** 空き家バンク補助金の引き上げの考えは。

**答** リフォーム等に必要な融資制度の構築に向け、東松島市空き家等対策協議会の意見を参考にしながら取り組んでいく。

**問** 空き家除去の後押しとして固定資産税増額分の減免制度を講じる考えは。

**答** 市で決められる案件

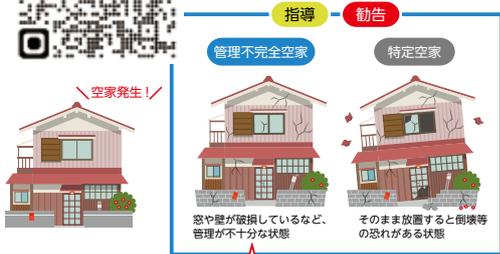
- 1 空き家対策の早急な促進を
- 2 子育て支援の更なる拡充で人口減少に歯止めを
- 3 松島～宮戸間の遊覧船就航で更なる観光拡大の推進を

## 空家対策特別措置法の改正

(令和5年12月施行)



👉 空き家にしないうちに。考えておこう！  
お役立ち動画のQRコード



特定空家に加えて管理不全空家も指導・勧告の対象となりました。

▲増加傾向の空き家を空き家にしないう対策を！

なので前向きに検討していく。

**問** 安心して子育てしやすい環境として、親の育児負担や孤独感を減らす事の重要性の認識は。

**答** 子育て支援センター「ほっとふる」の毎週土曜日開設への拡充を検討していく。また、「子ども誰でも通園制度」を積極的に活用していただき負担軽減に取り組む。

**問** 保護者の負担軽減に有効と考える子育て支援拠点を設ける考えは。

**答** 子育てサークルの設立支援や活動拠点として子育て支援センター、各市民センター等の活用について検討する。

**3件目**

**問** 松島から嵯峨渓遊覧コース宮戸着の新たなルート開設で交流人口の拡大を検討すべきでは。

**答** ルートの設置は可能であり検討していく。

# 問 市政運営の課題を問う

## 答 地域皆様のご理解ご協力を願う



小野 幸男 議員

1件目

**問** 地域自治組織（まち協）の繰越残高に対する執行の考え方を伺う。

**答** 地域自治組織会計の令和5年度末現在の残高合計額は、8地域総額で、約4千5百万円になる。今後も地域自治組織の役員会等の場を活用し、好事例の情報提供、地域まちづくり交付金の適切な活用や制度の在り方を継続的に意見交換する。

**問** 世界に持続可能な観光地に選定され、二つの認証を受けた。今後の観光政策にどう活かすのか。

**答** 二つの認証を受けたのは本市とニセコ町と白川村の3地域のみである。今後のインバウンド誘客が大いに期待され、実績

### 1 市政運営の課題を問う



▲美しい観光を目指し大高森にトロッコ列車を

を最大限に活用した観光政策を推進し環境整備にも努める。

**問** 松島く大高森遊覧船就航に合わせて、大高森山頂までのトロッコ列車の設置について伺う。

**答** 令和2年第4回定例会にも質問いただいている。オルレコースの見どころであり、多くの観光客に山頂からの眺望を楽しんでいただきたく、難

しい事業ではあるが、今後研究する。

**問** 有事の際の消防団員の安全対策は万全か。

**答** 消防団員が安全に活動を行うための指針となる「東松島市消防団安全管理マニュアル」を作成し、平成25年4月1日から運用している。内容について引き続き周知徹底を図り今後も地域に根差した体制の維持に努める。



# 問 市民満足度調査結果について問う

## 答 来年度は質問数や内容等さらに研究



手代木せつ子 議員

1件目

**問** 1,500人のアンケート対象者の抽出の方法は。

**答** 地域ごと、年代ごとに対象者数の抽出を行っている。

**問** 令和5年度の回答率は29.9%と低い率であったが、その捉え方は。

**答** 質問構成が後期基本計画を軸とした施策に関して調査を行っていたため低回答率と思えるが、今後は質問数や内容等を研究する。

**問** 市民が考える本市の重要度順位第1位の「子育て環境の充実」に対する満足度順位は第15位、また第2位「高齢者・障がい者等への支援充実」は第18位という結果をどう分析しているのか。

**答** 「子育て環境の充実」について、20代から40代の子育て世代に絞った回答結果では72%が満足以上の回答となっていることから、今後は若年世代には子育て、スポーツ、雇用などの分野を、高齢者世代には医療、福祉分野など、調査対象の見直しを研究していく。



- 1 市民満足度調査結果について問う
- 2 子ども食堂（地域食堂）の推進及びサポートについて問う



▲市民満足度調査結果一覧



▲地域食堂案内チラシ

**問** 2件目 子ども食堂（地域食堂）の推進とサポートについて、見解を伺う。

**答** 東松島市社会福祉協議会が事務局となっている。市内では6団体が活動しているが、子どもから高齢者まで誰もが利用できる地域交流の場となっているのが現状である。市内の集会所利用の際は使用料を免除する等、財政支援も含め前向きに検討する。

問

# 2025年問題について問う

答 各課題に対して、真摯に取り組む



櫻井 政文 議員

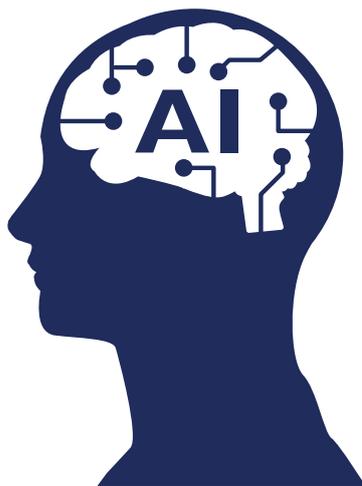
1件目

「団塊の世代」が後期高齢者（75歳）となる2025年は、医療・介護の費用が膨張し、ピークに達する。また、75歳を境に健康状態に大きな変化があるとも言われ、雇用、医療、福祉といった様々な分野へ多大な影響を及ぼすことになる。そこで以下の点について対応策を伺う。

問 老老介護について。

答 自ら声を上げられない世帯に対応するため、社会福祉協議会や地区自治会、民生委員児童委員と連携し、地域の気になる高齢者情報を収集するなど、支援の取りこぼしが生じないように努めて

- 1 2025年問題について問う
- 2 AI（人工知能）の導入及び利活用について



▲AI導入に向けて最善の準備を！

いる。

問 認知症対策について。

答 予防対策や正しい知識と理解の普及啓発等、取組を強化していく。

問 高齢者就労拡大は。

答 「高齢者雇用安定法」等の周知・啓発と雇用関係の助成金を活用した再就職の支援を行う。

問 健康寿命の延伸は。

答 健康診査、介護予防のための100歳体操、また、食育推進の取組を通じて心と体の健康づく

りを推進していく。

問 経営者の高齢化による後継者不足について。

答 事業承継マッチングを実施している。

2件目

問 AI（人工知能）の導入及び利活用について

は、全国の自治体で活用する動きが広がっているが、全国的に活用効果や安全性の

情報収集を行っていく。

問

# 養殖漁業被害の補助について問う

答 被害把握に努め支援を検討していく



井出 方明 議員

1件目

問 冬場の荒天で海苔や牡蠣養殖施設に被害が出た。天災被害であり補助する考えについて問う。

答 本市の被害総額は約2億3千2百万円であり、水産業災害対策資金利子補給を行う。また廃棄せ

ざるを得ない漁業資材が仮置きされており処理経費の支援を検討していく。

は利用状況を見ながら増便していく。また野蒜海岸及びあおみなに観光看板を設置していく。

3件目

2件目

問 令和の果樹の花里づくりの敷地で菜の花が自生しSNSで話題になった。敷地の一部を花等で心癒せる空間にしてはどうか。また松島宮戸定期航路の活用等を問う。

答 令和の果樹の花里は先ず計画通り果樹の植樹を進めていく。定期航路

問 自衛官募集に尽力されているが、募集事務に必要な経費の増額を国に求めたらいかがか。共同訓練の為に米軍が松島基地に展開して来たがどのような状況であったか。

答 自衛隊の入隊者が減少しているなか、募集成果を上げる為にも自衛官募集事務委託費の増額に向けた働きかけを行っていく。

米軍の訓練は騒音及び安全面共に問題無く、半数の米兵は基地外に宿泊し、訓練時間外に市内店舗を利用しての姿を確認している。また友達作戦として、米軍・自衛隊・市役所及び商工会等が参加して野蒜海岸ク

- 1 漁業の被害状況について問う
- 2 観光推進施策について問う
- 3 松島基地との共存共栄について問う



▲友達作戦Ⅱとして行われた野蒜海岸のビーチクリーン

リン作戦が行われた。



# 問 農薬の適正使用について

## 答 市民に対しても啓発を図る



阿部 秀太 議員

1件目

**問** 手軽に農薬が買えるようになったが、生産物の安全性確保や事故防止のため、市民向けに農薬の適正使用の啓発を図っては。

**答** 市報等を通じて、家庭菜園等に農薬を散布する場合は、散布場所及びその周辺にも配慮が必要であること、使用方法については、メーカーの取扱方法等を遵守する必要性を啓発する。

**問** 「子どものいる環境から合成化学薬品は遠ざけたい」、「草を取るという作業を通じて子どもの考える力を養う」との観点から、学校敷地での除草剤散布はできるだけ控

- 1 農薬の適正使用について
- 2 次期総合計画に若者の参画を



▲農薬は責任をもって正しく使いましょう



えるべきでは。

**答** 児童生徒の取組やPTA等による作業も実施しているが、時間的制約等もあり手作業のみでは困難な現状がある。今後とも、除草剤の散布は必要最低限の回数とし、児童生徒の安全を十分確保して散布作業を行う。

2件目

**問** 次期総合計画に若者の参画を得るため、東松

島市総合開発審議会の委員数を24名から30名に増員するに際して、その分を20代及び子育て世代の意見を反映するために公募はどうか。

**答** 幅広い年齢や職種、積極的にまちづくりに参加したいという思いがある方などから、多くの意見をいただく必要があることから、公募を含めた委嘱を検討する。

# 問 南浦地区の雨水排水対策について

## 答 下街道排水機場の改修工事を行う



長谷川 博 議員

1件目

**問** らくらく号は、車を持たない市民の移動手段として喜ばれている。また、市は高齢者に対して優遇措置による免許返納を呼びかけている。一方で、返納者への優遇措置は利用者増につながり予約が取りにくい状況と聞き及び。また、利用料金

- 1 市民の足・らくらく号の利用について
- 2 南浦地区の雨水排水対策について



▲改修が決まった下街道排水機場

の差は納得出来ないという声もある。運行の予約や料金設定などについて検討する必要があるのでは。

**答** らくらく号の利用者は、年々増加傾向にある。令和2年4月から免許返納割引を開始、現在の登録者数は606名。利用者増の影響で予約が取りにくいという苦情は無い。返納者の割引制度は高齢者の免許返納の動機付けの役割もあり、多くの方々に満足を頂いている。料金体系は当分の間、現行のままにしたい。

2件目

**問** 近隣住民から「大雨時、自宅の雨水排水が出来ず、排水路から逆流する始末」との訴えあり。従前は大雨の度に道路が冠水、暮らしに支障が生じていた。震災後、南浦に雨水調整池が整備され、冠水被害が発生しなくなった状況下でも一部の区域では発生している。早急に改善すべきだ。

**答** 震災後の令和2年度に下街道地区調整池が完成、整備の効果は大きい。一方、南浦地区の一部は南浦排水路を経由して下街道排水路に流入し、下街道排水機場から排水。同排水機場が老朽化しており、老朽化対策や異常気象に伴う豪雨対策の必要から防衛省に強く要望。県が事業主体となり、基地周辺障害防止対策事業による改修が決定した。7年度に全体調査、8年度に実施設計、9年度に工事着手の予定である。

問

答

計画通り実施していく

3市営住宅地の利活用を問う



五野井敏夫 議員

1件目

市営小松住宅、別当住宅、北浦アパートは、建築後70年〜50年以上経過し、長期にわたり利用されてきた。老朽化が進み住民退去した棟から順次解体し、更地化されている。その後の跡地利活用とその時期はいかに。

問 小松住宅についてはいかに。  
答 当住宅は、令和3年度より居住者の移転と併せ解体を開始し、令和7年度で全棟解体完了する予定となっている。当地は市街化調整区域でもあり、地形地盤にも不安があるため、再利用には慎重な検討が必要である。現時点では、太陽光発電等の有効活用を含めて検

- 1 老朽化した市営住宅地の利活用を問う
- 2 本市に居住する外国人の状況把握はいかに



討している。

問 別当住宅についてはいかに。

答 建築後60年が経過しており、住宅用途廃止を目的として、令和3年度より居住者の移転と併せ解体を開始し、本年度中に全棟解体が完了する。その後は、早期に区画を整備し、安価な住宅地として供給すべく令和5年度より基本計画を策定し進めている。本年10月頃までには方針決定する予定である。



▲解体後の跡地利活用はいかに

事業については出来るだけ早期化する。

問 北浦アパートについてはいかに。

答 建築後70年以上経過しているため住宅用途廃止に向け政策空き家募集停止としている。現在は4世帯の入居があるが令和7年2月までには移転する調整が進んでおり、解体は令和7年〜8年で完了する計画である。跡地の利活用は、駅前開発も含めて総合的に検討していく。

## 令和5年度 政務活動費使用状況

政務活動費は、1人当たり月額 15,000 円を会派等の申請に基づき、その年度分を一括で市より交付され、議員の調査研究活動等に対する必要な経費の一部として使用しています。残額は市に返還します。

### ～令和5年度の会派等における使用状況～

(単位：円)

会派及び団体名	交付額 (A)	支出内訳			支出合計 (B)	返還額 (A) - (B)
		調査研究費	研修費	資料購入費		
松桜会	1,080,000	925,388	0	60,170	985,558	94,442
清新会	1,080,000	994,891	0	60,000	1,054,891	25,109
自公・市民の会	720,000	709,950	0	0	709,950	10,050
自民党新清風会	360,000	199,620	0	0	199,620	160,380
合計	3,240,000	2,829,849	0	120,170	2,950,019	289,981

#### ■用語解説

- 調査研究費：市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費：会派等が開催または参加に要する経費
- 資料購入費：会派等が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

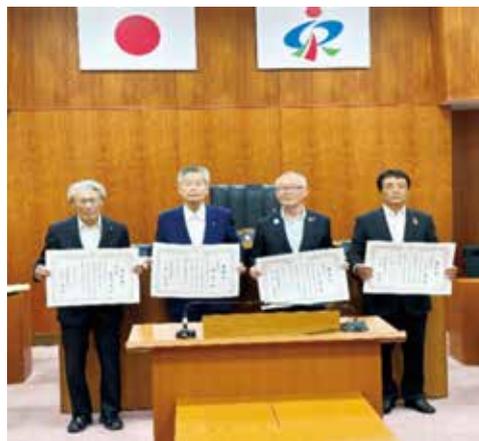
# 全国市議会議長会議員表彰

東松島市議会議長及び副議長として4年以上、また市議会議員として15年から35年以上市政の振興に努められた議員及び全国市議会議長会空き家・空き地問題に関する特別委員会委員として会務運営に努められた議員に対して、全国市議会議長会から表彰及び感謝状が授与されました。

**市議会正副議長表彰**  
(4年以上) 小野幸男議員

**市議会議員表彰**  
(35年以上) 滝 健一議員  
(25年以上) 長谷川博副議長  
(15年以上) 小野恵章議長  
(15年以上) 小野幸男議員

**全国市議会議長会空き家・空き地問題に関する特別委員会委員**  
小野恵章議長、小野幸男議員



▲左から長谷川博副議長、滝健一議員、小野恵章議長、小野幸男議員

## 東松島市議会 Facebook が新しくなりました！



▲5月13日開催第2回臨時会の内容を発信しています

東松島市議会の定例会、委員会、議会活動など様々な情報をいち早く発信するため、東松島市議会 Facebook が新しくなりました。

多くの市民の皆様には議会の運営及び活動に対して関心を持っていただければと思います。

ぜひご覧いただき、「いいね！」と「フォロー」をよろしくお願いいたします！



市議会だよりの発行についてのお知らせ



# 宮城県土木部所管事項に関する要望会

令和6年6月4日に宮城県土木部所管事項に関する要望会において、宮城県に対して市と市議会が共同で要望書を提出しました。

港湾等に対して3件、土木等に対して11件、計14件の要望をいたしました。

矢本海浜緑地公園の施設内容の充実、一級河川堤川の改修及び排水機場の整備、道路及び交差点の安全確保、海岸の維持整備等の課題解決に向け現地調査を行い、具体的な対応を提案しました。



宮城県に対して要望書の提出



台風や大雨の際に越水や冠水の被害がある一級河川堤川の改修及び排水機場の整備について要望（上下堤地内）



交通渋滞が発生する鳴瀬南郷線の道路及び歩道の拡幅整備について要望（西福田地内）



矢本海浜緑地公園の遊具を含む施設のさらなる充実について要望（大曲地内）



現場視察後、市政反映のため様々な意見交換を行いました

# 議会活動

## 宮城県議会大震災復興調査特別委員会視察

令和6年5月14日に宮城県議会大震災復興調査特別委員会と「被災元地活用の現状及び課題について」をテーマに意見交換が行われました。

市復興政策部から「被災元地の現状等について」の説明を行い、その後の質疑応答と意見交換では、市の要望等を含めた議論を活発に行いました。

宮城県議会では、今回の視察の調査を踏まえ、政府要望を行うとのことでした。



## 東松島市商工会との懇談会

令和6年7月5日に東松島市商工会との懇談会が開催されました。東松島市商工会より本市の地域経済構造と景気の動向について講演をいただきました。

市議会からは本市の産業振興について議会報告をいたしました。今回いただいた意見等は、今後の市政への提言等に活かしたいと思っております。



本市の産業振興について議会報告を行った  
熊谷昌崇産業建設常任委員会委員長

